

八千代医療センターの各診療科のご案内

糖尿病・内分泌代謝内科

2021. 4. 1 予定

医師数 5名

総合内科専門医 1名、認定内科医 4名

糖尿病指導医 1名

糖尿病専門医 2名、内分泌代謝専門医 1名

後期研修医 1名

2019年度 入院数 (256名/年)

主病名として、2型糖尿病 154例、1型糖尿病 37例、肥満症 3例、下垂体疾患 15例、甲状腺疾患 2例、副甲状腺疾患 2例、副腎疾患 21例、その他 15例

経験できる代表症例；

- 糖尿病 (1型、2型、妊娠関連、その他)、糖尿病急性合併症 (糖尿病性ケトアシドーシス、高浸透圧性高血糖症候群、感染症)、低血糖症、インスリン自己免疫症候群、術前や妊娠中の血糖コントロール
- 脂質異常症
- 肥満症 (メタボリックシンドローム、NASH/NAFLD等)
- 間脳下垂体疾患 (下垂体腫瘍、先端巨大症、プロラクチノーマ、クッシング病、下垂体機能低下症、ACTH単独欠損症、GH分泌不全症、下垂体炎、尿崩症、SIADH等)
- 甲状腺疾患 (バセドウ病、甲状腺機能低下症、慢性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎、無痛性甲状腺炎、甲状腺腫瘍等)
- 副甲状腺疾患・カルシウム代謝異常 (副甲状腺機能亢進症、高カルシ血症性クリーゼ、副甲状腺機能低下症、骨粗鬆症等)
- 副腎疾患 (原発性アルドステロン症、クッシング・サブクリニカルクッシング症候群、副腎クリーゼ、褐色細胞腫、パラガングリオーマ、副腎偶発腫瘍等)
- 膵・消化管神経内分泌疾患 (インスリノーマ等)
- 性腺疾患 (性腺機能低下症等)
- 自己免疫性多内分泌腺症候群

カンファレンス；毎週月曜日 15:00-17:00；症例検討、抄読会

糖尿病・内分泌代謝内科の研修アピールポイント；

多くの糖尿病・内分泌代謝疾患とそれに伴う合併症について、専門医と共に診療します。入院患者が主ですが、希望があれば外来患者も診療可能です。

糖尿病については経口血糖降下薬や注射薬、インスリンポンプの使い方を学ぶことができます。糖尿病教育入院、持続血糖モニター導入や急性合併症への対処、妊娠関連症例、外科的手術前の血糖コントロールも経験できます。

内分泌疾患についても各科と連携しながら、ホルモン刺激試験や画像検査など自らで考えながら、疾患を学ぶことができます。

学会発表も積極的に支援しています。